

令和6年度区・分館人権教育懇談会より

日頃より区・分館の役員の皆様には、人権教育懇談会の開催につきまして、大変お世話になっております。今年度も、皆様に大変ご苦勞をいただき区・分館人権教育懇談会を開催することができました。現在までの実施状況は、開催することができたのが45区、懇談会は実施できなかったものの人権啓発のチラシを配布していただいたのが6区、中止または未定のところが23区となりました。なかには、2回実施していただいた区もありました。今年度実施していただいた懇談会の様子の一部をご紹介します。ご協力いただきありがとうございました。

1 講師 宮坂 宏さん 「今 知っておきたい人権課題」

「すべての人が生き生きと暮らせる共生社会を目指して」というテーマで考えました。

はじめに、人権感覚を見つめ直すために、アンコンシャスバイアス(無意識の偏見・思い込み)について考えました。また、個別の人権課題については、11ある課題の中から特に「障害者差別解消法」「部落差別解消推進法」「LGBT理解増進法」について、動画や具体例を交えてわかりやすく説明していただきました。そして、共生社会を目指すために、私たちが取り組んでいきたいことについて話していただきました。



2 講師 兒玉順夫さん 「学校における人権・同和教育」

学校における人権・同和教育について考えました。



中学生に実施したアンケート結果から、「いじめ」「同和教育」「ハンセン病」などの人権問題についての中学生の学習の様子について話していただきました。また、大相撲の取組におけるモンゴル出身の力士に対するヘイトスピーチやインターネットに潜む危険、いじめについては中学校の取組などを紹介していただきました。最後に、地域で子どもたちの様子を見守って欲しいと話されました。

3 講師 下川昌平さん 「新型コロナウイルスと人権」

DVD「私たち一人ひとりができること」を視聴し、新型コロナウイルスと人権について考えました。

学校現場での新型コロナウイルスに関する差別の状況について、養護教諭へのアンケート結果、市町村立学校の例、大学(天理大学・京都産業大学など)の例などが紹介されました。また、東京差別、コロナ差別禁止(防止)条例についての説明や日本の同調圧力の強さ、コロナ自警団の問題など、コロナ差別にかかわる様々な問題について話していただきました。また、コロナ感染者を気遣う「結の島」や「シトラスリボンの取組」についての紹介もありました。



4 講師 畔上忠治さん 「身近な人権」

人権落語「妾馬」とDVD「ほんとの空」「大切なひと」等の視聴をとおして考えました。



人権落語「妾馬」は、殿様に嫁いだ庶民の娘の兄が、殿様に会いに行くお話です。お城に行くと、慣れない言葉に勘違いの連続ですが、最後は……。DVD「ほんとの空」は、福島から避難してきた家族との関わりをとおして、「放射能に関わる差別・いじめ・外国人の人権」など様々な人権問題について考えるドラマです。「大切なひと」は、ネット社会における同和問題をテーマにしたドラマです。ドラマや畔上さんの落語・お話を聞きながら、楽しく人権について考えます。

5 講師 鈴木 薫さん 「認知症の理解とかかわり」

認知症の人に対して、私たちができる正しいかかわり方について学びました。

はじめに、認知症の基礎知識として、認知症の種類や認知症になる人の割合、どのような仕組みで認知症になるか、進行を進めないために大切なこと、治療方法などについての説明がありました。そして、かかわり方のポイントについて、

- ① 病気の正しい理解
- ② プライドを傷つけない
- ③ できることを大切にする。

の3つの点をあげ、認知症を進行させないためには、家族・地域の支えが大切であると話されました。



6 講師 涌井純生さん 「インターネットと人権」

DVD「インターネットと人権」を視聴し、インターネットにおける人権問題について考えました。



DVD「インターネットと人権」は、高校生3人が、インターネットにかかわる様々なトラブルに巻き込まれていくドラマです。DVDを視聴後、講師からインターネットの利用率、人権侵犯事件数、トラブルの事例などについて説明していただきました。また、ネット被害から自分を守るための方法や相手を傷つけないために大切なことなどについてお話していただきました。さらに、被害にあった場合の対処方法として、削除依頼の方法についても紹介していただきました。